

令和7年度 後期学校評価アンケート(教職員自己評価)

回答数12/12名 回収率100%

別紙1

○評価種別

達成状況:生徒や保護者・地域住民などへの目標の達成の程度

取組の適切さ:目標に対する教職員の取組の程度

○評価区別

A:十分である(4点) B:おおむね十分である(3点) C:やや不十分である(2点) D:不十分である(1点) E:わからない(平均集計外)

対象	目標達成のための評価の観点(学校評価(自己評価)項目)	達成状況						取組の適切さ									
		A	B	C	D	E	評価	平均	R6後	A	B	C	D	E	評価	平均	R6後
学習指導	1 「本時の目標」の明示や「振り返り」により生徒に見通しを持った学習と定着を促せたか。	2	9	0	0	1	B	3.2	2.8	3	8	0	0	1	B	3.3	3.0
	2 ICTを効果的に活用した授業改善に取り組んだか。	3	6	2	0	1	B	3.1	2.6	2	7	2	0	1	B	3.0	2.8
	3 教科横断的な視点で総合的な探究の活動や授業改善に取り組んだか。	1	5	5	0	1	B	2.6	2.7	1	5	5	0	1	B	2.6	2.7
	4 授業規律が確立された生徒の授業満足度の高い授業か。	2	8	1	0	1	B	3.1	3.0	3	7	0	0	1	B	3.3	3.0
	5 受験に必要な学力向上が果たせたか。	2	2	5	1	2	C	2.5	2.7	2	3	4	1	2	B	2.6	2.8
	6 ルーブリック評価の活用で意欲を喚起できたか。	0	8	3	0	1	B	2.7	2.2	0	7	4	0	1	B	2.6	2.4
生徒指導	7 美しい礼儀・言葉・挨拶を身につけたか。	3	8	1	0	0	B	3.2	3.2	4	7	1	0	0	B	3.3	3.2
	8 表現力を育成する機会を設定できたか。	3	9	0	0	0	B	3.3	3.1	4	8	0	0	0	B	3.3	3.2
	9 生徒会や委員会の日常活動が活発だったか。	3	8	0	0	1	B	3.3	3.2	2	9	0	0	1	B	3.2	3.1
	10 生徒が活躍する場面を多く設定できたか。	3	9	0	0	0	B	3.3	3.3	3	9	0	0	0	B	3.3	3.2
	11 いじめの可能性を積極的に認知したか。	1	10	0	0	1	B	3.1	3.3	2	9	0	0	1	B	3.2	3.3
	12 ネットトラブルの防止ができたか。	0	11	0	0	1	B	3.0	3.2	1	10	0	0	1	B	3.1	3.3
	13 生徒個々の悩み等に寄り添えたか。	3	9	0	0	0	B	3.3	3.3	2	10	0	0	0	B	3.2	3.4
	14 アセス・ほっとを有効に活用できたか。	1	8	2	0	1	B	2.9	2.7	2	6	3	0	1	B	2.9	2.7
進路指導	15 進路シラバス等に基づき職業生活への自覚と意欲を育成できたか	1	8	2	0	1	B	2.9	2.9	1	8	2	0	1	B	2.9	2.9
	16 キャリアパスポートを有効に活用できたか。	0	5	6	0	1	C	2.5	2.8	0	4	6	0	2	C	2.4	2.6
	17 進路目標の早期設定と、系統的な受験・面接指導ができたか。	2	7	1	0	2	B	3.1	3.4	2	7	1	0	2	B	3.1	3.3
	18 進学希望者への学習支援(アカデミックタイム含)は十分だったか。	0	3	7	0	2	C	2.3	3.1	0	4	5	0	3	C	2.4	3.1
	19 就職者の全員内定が得られたか。	0	3	4	1	4	C	2.3	3.5	1	5	2	0	4	B	2.9	3.5
健康安全指導	20 委員会活動や生徒会活動と運動させ、生徒の主体的な美化活動を推進できたか。	1	8	1	0	2	B	3.0	3.1	1	8	1	0	2	B	3.0	3.1
	21 いじめのない学校生活を保障できたか。	1	7	4	0	0	B	2.8	3.1	1	8	3	0	0	B	2.8	3.2
	22 各種講話は生徒の意識高揚に寄与したか。	2	9	0	0	1	B	3.2	3.5	3	8	0	0	1	B	3.3	3.4
	23 感染防止対策や防災意識の向上と定着がはかられたか。	1	10	0	0	1	B	3.1	3.3	1	10	0	0	1	B	3.1	3.2
組織・運営	24 学校教育目標や各ミッション、ポリシーに基づく教育活動に取り組んだか。	0	12	0	0	0	B	3.0	3.0	0	12	0	0	0	B	3.0	3.0
	25 「報告・連絡・相談」を密にして職員間の連携に努め、組織的な取組ができたか。	3	9	0	0	0	B	3.3	3.1	4	8	0	0	0	B	3.3	3.4
	26 学年、分掌等が連携して、教育活動に取り組めたか。	3	9	0	0	0	B	3.3	3.3	2	10	0	0	0	B	3.2	3.3
	27 中間・年度末反省や学校評価結果を元にPDCAサイクルを機能させたか。	2	10	0	0	0	B	3.2	3.2	2	10	0	0	0	B	3.2	3.1
	28 働き方改革を意識した業務の効率化に努めたか。	1	11	0	0	0	B	3.1	2.8	2	10	0	0	0	B	3.2	2.8
	29 勤務時間の縮減に努め、ワークライフバランスの向上を図ったか。	3	9	0	0	0	B	3.3	2.9	5	7	0	0	0	B	3.4	2.9
研修充実	30 生徒の悩みや課題に対する支援を組織的に行えたか。	2	10	0	0	0	B	3.2	3.3	2	10	0	0	0	B	3.2	3.3
	31 学習指導要領の実現や今日的な学習ニーズに対応するための研修に努めたか。	2	7	2	0	1	B	3.0	2.9	2	7	2	0	1	B	3.0	3.0
	32 生徒指導要領の内容を理解し、今日的な生徒の実態に対応した研修に努めたか。	0	9	2	0	1	B	2.8	3.1	0	9	2	0	1	B	2.8	3.3
社会との連携	33 教科や分掌等の校外研修等に積極的に参加したか。	3	9	0	0	0	B	3.3	2.9	3	9	0	0	0	B	3.3	3.1
	34 生徒・保護者の思いや地域ニーズを積極的にとらえ、信頼を得る対応ができたか。	0	10	2	0	0	B	2.8	3.0	0	10	2	0	0	B	2.8	3.0
	35 家庭への連絡を密に行ったか。	1	10	0	1	0	B	2.9	3.1	1	10	0	1	0	B	2.9	3.2
	36 地域やPTAとの関わりに積極的だったか。	1	9	2	0	0	B	2.9	3.5	1	9	2	0	0	B	2.9	3.5
	37 地域の特性を活かした体験活動を推進することができたか。	1	8	2	0	1	B	2.9	3.2	1	8	2	0	1	B	2.9	3.5
	38 地域の教育資源を活用し社会に開かれた教育課程の実現に向けて取り組んだか。	1	7	3	0	1	B	2.8	3.0	1	7	3	0	1	B	2.8	3.1
情報発信と信頼向上	39 HPの更新、記事提供に積極的に関わられたか。(担当領域における記事の作成等)	6	4	0	0	2	A	3.6	2.2	6	4	0	0	2	A	3.6	2.3
	40 本校の良さや魅力を発信する教育活動に参画できたか。	2	8	1	0	1	B	3.1	3.4	2	8	1	0	1	B	3.1	3.4
	41 職員相互が尊重し合い、信頼しあえる職場づくりに努めたか。	2	8	2	0	0	B	3.0	3.0	3	7	2	0	0	B	3.1	3.1
	42 教育者としての品格を保ったか。	5	6	1	0	0	B	3.3	3.2	6	5	1	0	0	B	3.4	3.4
43 不祥事防止への強い自覚を持ち、周囲に対する啓発を行っているか。	4	7	1	0	0	B	3.3	3.2	5	6	1	0	0	B	3.3	3.2	
							3.0	3.0							3.0	3.1	

評価については、各項目の平均点によって算出した。
 A 4.0~3.6
 B 3.5~2.6
 C 2.5~1.6
 D 1.5~1.0

(裏面)特記事項記述欄
記載なし

【アンケート結果の概況】

1 評価Aの項目

【達成状況】 39 HPの更新、記事提供に積極的に関わられたか。(担当療育における記事の作成等)

【取組の適切さ】 39 HPの更新、記事提供に積極的に関わられたか。(担当療育における記事の作成等)

2 評価Dの項目

該当なし

3 表の色分けは次のとおり(上昇、下降は中間評価との比較)

評価Aの項目

R6反省より上昇した項目 【達成状況】14項目(8減)/43 【取組の適切さ】14項目(8減)/43

R6反省より下降した項目 【達成状況】20項目(5増)/43 【取組の適切さ】23項目(13増)/43(R6:10/43)

2 下降した項目は増加した。その原因を検討する必要がある。特に【取組の適切さ】については、倍増しており取組方法について検討し改善を図る必要がある。

3 進路指導、健康安全指導、社会との関わり等の3対象においては、前年を下回った項目が顕著である。

【「年度末反省会議」に向けて】

1 各部署で学校評価(自己評価)の結果をふまえ、本年度の組織的な体制・取組方法について検討・見直しを来年度の計画の準備に向けた提案をすること。

2 次年度の計画立案に向けて、各部署で学校課題を明らかにし、改善に向けた取組について検討し、確実に引き継ぐこと。